

当院において緑内障の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「緑内障に対する治療効果の検討」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 眼科 森實 祐基

1) 研究の背景および目的

眼球の奥にある視神経が障害されると、徐々に視野が欠けてきて、見え方に異常を感じるようになります。この、視野が欠けることを緑内障といい、眼圧などいくつかの要因があることで発症します。緑内障は進行性の病気で、放置しておくことと失明する可能性もありますので、眼圧を下げる治療が必要となります。眼圧が下がることで進行が抑えられることはわかっていますので、眼圧を下げるために、点眼、レーザー、手術などを行いますが、どの治療をどの程度行えば緑内障の進行を抑えられるかは、個人差があり、必要な治療内容や治療回数、進行の程度などは様々です。そこで、私たちは、緑内障に対して治療を行った患者様の視力経過や眼圧経過、視野の変化などについて詳しく観察を行う研究を行うことといたしました。

2) 研究対象者

2018年1月1日～2028年7月31日の間に岡山大学病院眼科において緑内障として治療を受けられた方1000名を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2029年3月31日

4) 研究方法

当院において緑内障の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、視力や眼圧、視野検査に関する分析を行い、どのような経過をたどるかについて調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴、手術歴、
- ・ 診察所見、視力経過、眼圧経過、治療内容、視野検査結果、画像検査結果など

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院眼科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 眼科

氏名：藤原美幸

電話：086-235-7297（平日：9時00分～17時00分）